

平成17年度（2005年度）事業報告

平成17年度（2005年度）「オリンピック特別委員会」および「競技力向上委員会」の事業報告を以下の通り行います。

平成17年度はアテネオリンピックに於ける関・轟組の銅メダル獲得の効果で補助金支給団体からの選手強化費も増額されました。
特に、JOCの推薦でスポーツ振興基金より「重点強化種目」に認定され別枠の補助が受けられる事となりました。

オリンピック特別委員会はアテネ大会終了後、組織の充実と以下の重点目標を掲げ、17年度はまず国内強化活動の充実からスタートいたしました。

*オリ特組織、業務の詳細はH/Pをご覧ください

また、重点目標4.の「次世代を担う選手の育成・強化」については競技力向上委員会と密接な連携を保って推進してまいりました。

【重点目標】

1. 北京五輪でのメダル獲得と複数種目の入賞
2. アジア大会(2006年12月カタール)のオリンピッククラス全種目金メダルの獲得
3. 選手が強化活動をスムーズに行える環境の整備と体制造り
4. JOCゴールドプランに基づく次世代を狙う選手の育成・強化
5. 事業別予算・実績管理の徹底と効率的な資金計画・運用

I. 実施事業

1. 国内強化合宿

(1) 470級

- ・第1回ナショナルチーム強化合宿 4月26日～30日 福岡県小戸
 - ・第2回 々 5月25日～29日 静岡県御前崎
 - ・第3回 々 6月21日～26日 々
 - ・第4回 々 11月19日～21日 和歌山県和歌山マリーナ
- * なお、第2回、第3回合宿には470ジュニアワールドおよび第23回ユニバーシアー代表選手も参加いたしました。

(2) レーザー級、レーザーラジアル級

- ・第1回両級ナショナルチーム合同強化合宿 6月7日～12日 神奈川県逗子
 - ・第2回 々 7月6日～10日 静岡県御前崎
- * なお、第1回合宿にはワールドユース代表選手代表選手および第23回ユニバーシアー代表選手が第2回合宿には第23回ユニバーシアー代表選手が参加いたしました。
- ・レーザー級海外コーチ招聘合宿 8月15日～21日 兵庫県芦屋
スエーデンからアテネオリンピック6位のカールスネソン氏を招聘、9月世界選手権参加選手の強化を行いました。

- ・レーザーラジアル級ナショナルチーム強化合宿 10月13日～18日 静岡県御前崎

(3) RS:X級

- ・ナショナルチーム強化合宿 11月21日～24日 愛知県蒲郡

(4) 49er級

- ・ナショナルチーム強化合宿 2月22日～26日 神奈川県江ノ島

- (5) 海外選手招聘ナショナルチーム強化合宿 10月13日～18日 神奈川県江ノ島
470級ベルチャー・ベレンス組(05年世界選手権 4位)
49er級クリステン・アンデルセン組(05年世界選手権8位)
を招聘し強化合宿を行いました。
- (6) JISS(国立スポーツ科学センター)合宿
2006年度ナショナルチーム選手42名を対象にTSCチェックの強化合宿を
1月30日～31日、2月27日～3月1日、3月13日～14日の3グループ
に分けて実施しました。
- (7) ユースナショナルチーム候補強化合宿
西日本地区合宿 3月9日～12日 佐賀県唐津
東日本地区合宿 3月21日～24日 静岡県浜名湖

2. 競技会開催

- (1) ISAF ワールドユース代表選考会 4月30日～5月3日 佐賀県唐津
- (2) 第23回ユニバーシアードおよび470ジュニア選手権代表選手選考
470級とレーザー級については東西でまたラジアル級とミストラル級については
既存の大会で日本代表選手を選考しました

種目	選考艇数	選手数	選考会名(大会名)	期日	場所
470級男子	1	2	東日本地区選考会	5月14日-15日	葉山
同 女子	1	2			
レーザー級(男)	1	1			
470級男子	1	2	西日本地区選考会	5月28日-29日	西の宮
同 女子	1	2			
レーザー級(男)	1	1			
レーザーラジアル級	2	2	2005年レーザー全日本レーザーディース選手権大会	5月21日-22日	広島
ミストラル級男子	1	1	IMCOワールドウィーク in 柏崎 2005	5月20日-22日	柏崎
同 女子	1	1			

- (3) JOC ジュニアオリンピックカップ2005 10月8日～10日 佐賀県唐津
兼 JSAF ユースセーリングチャンピオンシップ
- (4) オリンピックウィーク2005 10月19日～23日 神奈川県江ノ島
- (5) 2006年度ナショナルチーム選考レース
470級、レーザー級 12月13日～18日 神奈川県江ノ島
ラジアル級、49er級、RS:X級 2月22日～26日 々

3. 海外派遣

- (1) ISAF ワールドユース選手権大会 7月14日～23日 韓国・釜山

種目	参加選手	所属	参加艇数	順位	備考
420級男子	斉藤・吉永	唐津西高校	32	2	ユース初の銀メダル
同 女子	高橋(友)・津ヶ谷	三ヶ日高校	21	13	
レーザー級	藤谷	札幌第一高校	36	31	
ラジアル級	高橋(香)	磐城桜ヶ丘高校	31	26	
ミストラル級男子	高橋(良)	福岡西陵高校	17	15	

- ・ 国別順位 (Nations Cup) 46ヶ国中 17位

- (2) イングリング級世界選手権大会 7月15日～23日 オーストリア・モンデシー重(玄海セーリングクラブ)、堀内(飛島建設)、渡辺(富士ビューア)組
 34艇20ヶ国参加 総合20位国別13位
 *イングリグはナショナルチームではなく補助対象外ですが、ヨーロッパ内移動のためにトヨタ支援の車両のサポートを行ないました

- (3) 470級ジュニアワールド選手権大会 7月25日～8月2日 ロシア・サクトペテルズブルグ

種目	参加選手	所属	参加艇数	順位	備考
420級男子	水口・加藤	近畿大学	67	52	シルバーG 18位
同 女子	小西・富田	甲南大学	67	61	シルバーG 女子27位

- (4) 第23回ユニバーシアード大会

種目	参加選手	所属	参加艇数	順位	備考
470級男子	前田・小出	福岡大・中央大	17	4	入賞
々	宮田・吉田	法政大	17	8	入賞
470級女子	高橋・鎌田	法政大	9	2	銀メダル
々	杉田・桐谷	関西学院大	9	9	
レーザー級	安田	鹿屋体育大	25	19	
々	平田	法政大	25	24	
ラジアル級	疋田	近畿大	18	13	
々	田村	法政大	18	14	
ミストラル級男子	富澤	関東学院大	24	8	入賞
々 女子	野津	鹿屋体育大学院	12	9	

- ・ 国別順位 28ヶ国中 4位

- (5) 2005年470級世界選手権大会 8月19日～28日 米国・サンフランシスコ

<男子>64艇25ヶ国参加

選手名	所属	順位	国順	備考
関・柳川	関東自動車工業	24	14	ゴールドフリート
松永・上野	柳ヶ瀬セーリングクラブ	40	19	シルバーフリート
白石・谷川	ノースセール・浜松鉄工	42	19	々
谷口・吉見	第一経済大学	45	19	々
吉峰・黒川	高松市役所・明治大	51	20	々
新居・森田	第一経済大学	55	21	々

<女子>34艇参加

選手名	所属	順位	国順	備考
田畑・栗田	第一経済大学	14	12	フリート分けなし
井嶋・加藤	東亜建設工業	28	19	々
鈴木・池本	江ノ島ヨットクラブ・東海大	32	19	々

- (6) 2005年49er級世界選手権大会 8月25日～9月6日 ロシア・モスクワ
 轟・高橋(関東自動車工業)
 66艇22ヶ国参加 総合41位国別16位 シルバーフリート

- (7) 2005年レーザー級世界選手権大会 9月18日-28日 ブラジル・フォルタレザ
1 36艇38ヶ国参加

選手名	所属	順位	国順	備考
飯島洋一	飯島木型製作所	42	22	ゴールドフリート
永井久規	豊田合成株式会社	101	34	シルバーフリート
沖西祥宏	SPN	104	35	々

- (8) 2005年レーザーラジアル級世界選手権大会 12月2日-9日 ブラジル・フォルタレザ
76艇32ヶ国参加

選手名	所属	順位	国順	備考
石川あゆ美	(株)ベネッセコーポレーション	38	22	ゴールドフリート
川副温子	同志社大学	71	32	シルバーフリート
濱口睦美	鳥取県セーリング連盟	72	32	々

- (9) セールメルボルン 2006年1月9日-14日 オーストラリア・メルボルン

種目	参加選手	所属	参加国	参加数	順位	備考
470級男子	関・柳川	関東自動車工業	4	13	2	*
470級女子	吉迫・大熊	ベネッセコーポレーション	4	9	優勝	*
々	近藤・鎌田	アビームコンサルティング 法政大学			3	*
々	井嶋・加藤	東亜建設工業			5	*
レーザー級	永井	豊田合成株式会社	11	25	8	*
々	飯島	飯島木型製作所			13	
ラジアル級	長谷川	ベネッセコーポレーション	8	18	14	
々	高橋*	磐城桜ヶ丘高校			16	
RS:X級男子	見城	山口県セーリング連盟	11	35	10	*
々	富澤	関東学院大			11	
々	杉原*	JAL			19	
々	合志*	ウィダー/ナイキ			21	
々	国枝*				26	
々	藤原*				33	
RS:X級女子	小菅		6	13	3	*
々	今井				8	*
々	須長*				11	
々	石野田*				12	
49er級	轟・高橋	関東自動車工業	3	12	2	*

① 氏名欄*選手は2005年度ナショナルチーム外選手

② 備考欄*選手は北京オリンピック方式の最終ダブルポイントレース参加

- (10) RS:X級コーチ派遣

9月28日よりスペイン・カジスで開催されたRS:X級カジスレースおよび同クラス国際会議に出席、情報収集を行なうためにウィンドサーフィン級担当コーチ前地達郎氏を派遣しました。

- (11) アジア選手権派遣

2006年12月開催予定のカタール・ドーハーで開催の第12回アジア選手権大会に3月14日~28日まで役員2名、選手9名(OP級男子2名、女子2名、420級男子2名、女子2名、ミストラル級男子1名)を派遣しています。

4. 中国調査

9月5日～10日にかけて2006年470級世界選手権大会開催地である日照およびオリンピック会場の青島事前調査に山田敏雄、斉藤愛子、中村健次の3名を派遣、セーリング競技組織委員会での情報収集およびレース海面調査を行いました。

5. コーチ会議の開催

10月19日江ノ島女性センターでコーチ会議を開催しました。
本会議はコーチだけではなく選手の参加も可とし、青島調査の報告、2006年度計画概要、オリンピック最終選考について意見交換を行いました。

6. ナショナルチームランキングシステムの公示

2005年7月1日に初めての試みであるナショナルチームランキングシステムを制定し公示しました。

これは2005年、ナショナルチーム選手等を対象に2005年度世界選手権大会の成績で、2006年度事業における艇種別ランキングを明確にし、それを基に強化費およびその他の補助の算定基準とし、選手強化を図ることを目的としたランキングの算定を実施しました。今後、より良い制度に改め北京オリンピック直前の世界選手権大会まで継続して行きます。

【艇種別ランキング】

艇種	参加艇数	総合成績	参加国数	国順位	判定値	艇ランク	ランク順位
470級男子	64	23	25	14	3.05024	B	①
470級女子	34	14	18	12	3.07937	B	②
レーザー級	136	42	38	22	3.08972	B	③
イングリング級	34	20	20	13	3.09430	B	④
レーザーラジアル級	76	38	33	22	3.14700	B	⑤
49er 級	66	41	22	16	4.19531	C	⑥

7. 北京オリンピック最終選考 の公示

平成17年1月21日（土）開催のJSAF理事会において承認を受け公示いたしました。

8. ナショナルチーム規定の制定

ナショナルチーム選手の権利と義務を定めたナショナルチーム規定を制定しました。

9. オリ特ホームページ

オリ特ホームページを立上げ、合宿公示、レース等の公示、ランキングシステム、選手への通達等を掲載いたしました。

以上

2006年度ナショナルチーム選手

以下の選手が2006年度ナショナルチーム選手です。

クラス	氏名	所属
470男子	松永 鉄也	FEEL FINE
	上野太郎	
	関 一人	関東自動車工業
	柳川 祥一	
	山田 寛	Team SLE
	中村 健一	
	渡辺 哲雄	和歌山県立星林高校教員
	今村 公彦	第一経済大学
	吉峰 秀樹	高松市役所
	中村 昭仁	境港造船
470女子	田畑 和歌子	第一経済大学
	栗田 直美	
	吉迫 由香	ベネッセコーポレーション
	大熊 典子	
	近藤 愛	アビームコンサルティング
	鎌田 奈緒子	
	井嶋 千寿子	東亜建設工業
	加藤 彩香	
レーザー級	飯島 洋一	飯島木型
	永井 久規	豊田合成
	沖西 祥宏	エスピーネットワーク
	ホール・イアン	第一経済大学
ラジアル級	石川 あゆ美	ベネッセコーポレーション
	浜口 睦美	鳥取セーリング連盟
	長谷川 哲子	静岡大学
49er 級	轟 賢二郎	関東自動車工業
	高橋 賢次	
	石橋 顕	福岡ヨットクラブ
	牧野 幸雄	
RS:X 級男子	富澤 慎	関東学院大学
	合志 明倫	ウィダー／ナイキ
	杉原 祐史	JAL
	見城 元一	山口県セーリング連盟
	宮本 直和	宮本金物
	谷 賢二郎	山口県セーリング連盟
RS:X 級女子	小菅 寧子	
	須長 由季	miki House / TEARS
	今井 雅子	
	大西 富士子	桜美林大学
イングリグ級	重 由美子	佐賀県ヨット協会
	堀内 真優美	飛島建設
	名倉 海子	
	42 名	